

裏磐梯だより

No. 89

2018年3月



▲早春の深泥沼

みどろ

深泥沼は、神秘的な五色沼のなかでもひととき不思議で美しい沼です。一つの沼から少なくとも三つの色がみて取れるのです。探勝路からみて右側手前の緑系の色、左側奥の青白系の色、それに両者の中間部分の赤茶色です。

緑系の色は植物プランクトンなどの影響によるもの、青白系の色は珪酸アルミニウム微粒子けいさんによる光の散乱によるもの、赤茶色は酸化鉄が沼の浅い部分の水生植物に付着することによるものと言われています。これらの色は、季節、天候、太陽光の入射角などでさらに変化します。

また、昨年7月にテレビ放映された高精細水中カメラによる撮影で、ウグイの群れに交じって悠然と泳ぐ大きなサケ科の魚が映りました。深泥沼のまたちがった面での神秘です。

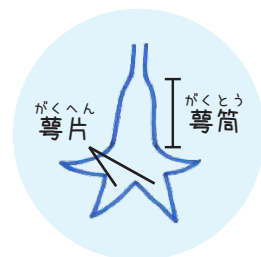
いかにも「五色沼」らしい不思議な魅力の多い深泥沼を、ぜひ皆さんも訪ねてください。

あくがるる 心はさても やまざくら
散りなんのちや 身にかへるべき

西行

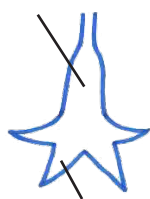
見分けは“うら”がポイント

日本に自生する野生種の桜は13種あり、その掛け合わせによって、300種以上の栽培品種があると言われます。種類が多く、細かな識別をするのは至難の業。しかし、花の裏側にある「^{がくとう}萼筒」や「^{がくへん}萼片」に着目すると、特徴がよく表れていて見分けのポイントとなります。桜をみかけたら、裏側にも注目してください。



野生種

細長いつりがね形
表面はなめらか

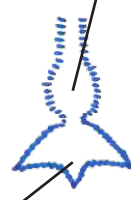


細長い三角形



野生種

つぼ形



毛が多い・縁がギザギザ

ヤマザクラ【山桜】

開花と同時に赤みのある若葉が開く。花弁は5枚でほぼ白色。遠目からは、白い花と赤っぽい若葉とが混ざりあって全体がピンクに見える。温暖な気候を好む。西日本で最も一般的な野生の桜。低山にも多い。

エドヒガン【江戸彼岸】

満開の頃にも葉はほとんど伸びない。広く分布しているが、自生地は限られ、大きな河川のそばの斜面に生えていることが多い。花弁は白色からピンクまで幅がある。小さな花が枝に集まってつく。



野生種

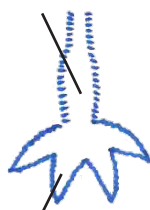
タカネザクラ【高嶺桜】

別名ミネザクラ。亜高山帯に自生する。開花と同時に若葉が開く。花弁の大きさはやや小ぶり。色は白色から淡いピンクまで幅がある。高地や積雪の多い場所は樹高が低く、風雪の弱い場所では5m以上になる。

太いつりがね形
毛はある or ない縁のギザギザは
ある or ない

栽培種

細長いつぼ形



毛が多い・縁がギザギザ



栽培種

長めのろうと形
表面に凹凸がある

細長い卵型で先がとがる

ソメイヨシノ【染井吉野】

日本で最も広く栽培されており、桜の開花観測には各地のソメイヨシノの標本木が対象となる。若葉は花が咲き終わってから伸びるため、満開時には木全体が花に包まれたように見える。花弁は白色に近いピンク。

ギョイコウ【御衣黄】

開花と同時に若葉が開く。花弁は淡い黄緑色で、はっきりとした緑色の筋が入っている。満開になった後、徐々に中心部が赤く色づいていき、散る間際には、赤みが増す。江戸時代の栽培記録も残っている。



ツリーウォッチングの楽しみ

最近が残雪がかたくなり、晴天の日も増え、スノーシューを履いての森歩きが快適に楽しめるようになりました。それができるのも残りわずかですが、とっておきの楽しみ方をお伝えします。

一人静かな森のなか、木々の枝先をじっとみてまわります。葉が枝から落ちたところに残る痕（葉痕）と、葉に水や養分を送っていた管の痕が、何となく顔にみえてくるのです。ツヤのあるきれいな赤色の帽子を被った小人さん（ネジキ）や、不気味さを感じるほどのニンマリ顔の人（ヤチダモ）など、次から次へと愉快的な仲間たちが出迎えてくれます。



ネジキ



ヤチダモ



ミドリシジミの卵

また、枝をみていると、時々ちがうものもみつかります。ハンノキの枝には、直径1mmほどの白いお饅頭がついていることがあります。なんとこれは蝶の卵！ミドリシジミという蝶のものです。

そして、じっと目を凝らすことに疲れたら、白い雪の上に寝そべてみます。真下から眺めるダケカンバは、太陽の光で輝いた木肌が青空に映えて、ドキドキするほどきれいです。葉が落ちている今だからこそ、木そのものの立ち姿（樹形）にも魅かれます。

芽吹きを待つ森は、ひっそりとした印象ですが、意外にもツリーウォッチングの新しい魅力をたくさん発見することができます。これからのぎやかな季節がやって来ますが、こういった静かな楽しみが名残惜しくもある今日この頃です。



真下から眺めたダケカンバ



ようこそビジターセンターへ

裏磐梯の春を先取り！



展示室の壁に、春の花を紹介する「春の花コレクション」が登場しました。ここでは、裏磐梯でみられる春の花を、春の妖精、野に咲く花、木に咲く花、水辺に咲く花、カエデの花に分けて写真で紹介しています。

春先にしか花がみられない「春の妖精（スプリング・エフェメラル）」と呼ばれる植物たちの可愛らしい花の写真や、あまり注目されていないカエデ類の花の写真などがみどころです。

花が咲くのが待ち遠しいですが、ぜひ「春の花コレクション」でお気に入りの春の花を探してみてください。また、実際に花が咲いてからは、展示をみて気になった花を自然のなかを探しに行ったり、散策中にみつけた花の名前を調べたりして楽しんでください。



▲春の花コレクション

イベント & お知らせ

わ くわく 散歩

スタッフがビジターセンター周辺を案内します。
雪解けまでは簡単なスノーシュー体験もできます。

受付時間：随時

所要時間：30分程度

参加費：100円

スノーシューレンタル代：500円

長靴レンタル代：200円



開 館時間の変更とGWの開館日

* 4月1日から開館時間が9:00~17:00
に変わります。

* ゴールデンウィークは4月28日(土)
~5月7日(日)まで毎日開館します。

\待ってるねー/



春 の展示をはじめます

春の花や桜など、展示の内容も春に
あわせた話題に更新中です。お楽しみに！



レ ンタルしています

スノーシューや長靴などのレン
タルも実施中です。

※詳細はお問い合わせください。



ビジターセンターの
窓から

冬から春が一番待ち遠しさがふく
らむ。

(クリリン)

このまますんなり春になる!?

(ターサン)

裏磐梯の春は、遠いようで近い?

(はるるん)

今年は生きものの写真をたくさん
撮るぞ! (さはらん)



3-4月

ビジターセンター周辺*いきもの暦



《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2018/3/29 ※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします。

定期購読のお知らせ ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚(奇数月発行1年間分)を同封し裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093

開館時間 9:00-16:00 (4月からは17:00閉館) 入館無料

休館日 火曜日(火曜日祝日の場合は開館し翌日休館)

TEL 0241-32-2850 FAX 0241-32-2851

ホームページ <http://www.urabandai-vc.jp>